

日本画壇を代表する女流画家、小倉遊亀さんが描く群青の富士山。
巨匠の味わい深い風景画の名品を、「ボーンチャイナ」で知られる
鳴海製陶が美術陶板画として製作しました。

高価な天然群青の絵具で富士山と裾野に遊ぶ乳
牛を描いた、遊亀作品の中でも数少ない風景画の
ひとつ。

山麓を進む牛の群れの中に二頭遅れて続く牛が遊
亀その人であるといわれており、止まることのない
精進を表わしているともいわれます。

——小倉遊亀は昭和の日本画壇を代表する女流画家。骨太な線描、
澄んだ色彩、明快な造形が特徴。片岡球子、草間彌生と共に今もつ
とも注目されている女流画家の一人です。遊亀の作品は身近にあるも
のを題材にした静物画や女性画が多く、その明快な造形には日本美
術の伝統的な表現にプラスされた近代的な日常感覚が明確に打ち出さ
れています。

